

都市再生整備計画事業 事後評価シート

可児駅東地区

令和2年3月

岐阜県可児市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県	市町村名	可児市	地区名	可児駅東地区			面積	18.1ha
交付期間	平成26年度～平成30年度	事後評価実施時期	令和元年度	交付対象事業費	1406.3百万円	国費率	0.5		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名						
	基幹事業	前波田白線、市道3236号線、可児駅前線、立体駐車場、自由通路、駅前広場、歩行者・自転車路面表示、可児駅前線電線共同溝、観光交流センター、地域交流センター、母子福祉センター、商業施設(産直アンテナショップ)							
	提案事業								
	当初計画から削除した事業		事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	基幹事業	観光交流センター 母子福祉センター	複合施設として機能は確保するが、基幹事業としては削除する。			機能は確保することから、数値目標などへの影響はない。			
	提案事業								
新たに追加した事業		基幹事業							
提案事業									
交付期間の変更		当初	平成26年度～30年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響					
変更		なし							

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	暮らしやすさの満足度	%	21.6	H25	42.0	H30	-	32.6	△	あり	本事業の着実な実施により、暮らしやすさの向上が図られたが、買い物に対する満足度が十分に発現していない状況にある。今後予定されている店舗立地等により満足度が向上すると予想される。	なし
										なし		
指標2	交通安全利便性・安全性の満足度	%	28.6	H25	45.4	H30	-	50.0	○	あり	道路・駅前広場のほか、立体駐車場や自由通路などを複合的に整備したことにより、交通安全利便性・安全性の満足度は大きく向上した。	なし
										なし		
指標3	区域内幹線道路の歩行者空間のバリアフリー化	%	47.3	H25	48.0	H30	47.7	48.8	○	あり	道路および歩道整備の実施により、歩行者空間のバリアフリー化は計画通り進んだ。	なし
										なし		

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1												
その他の数値指標2												

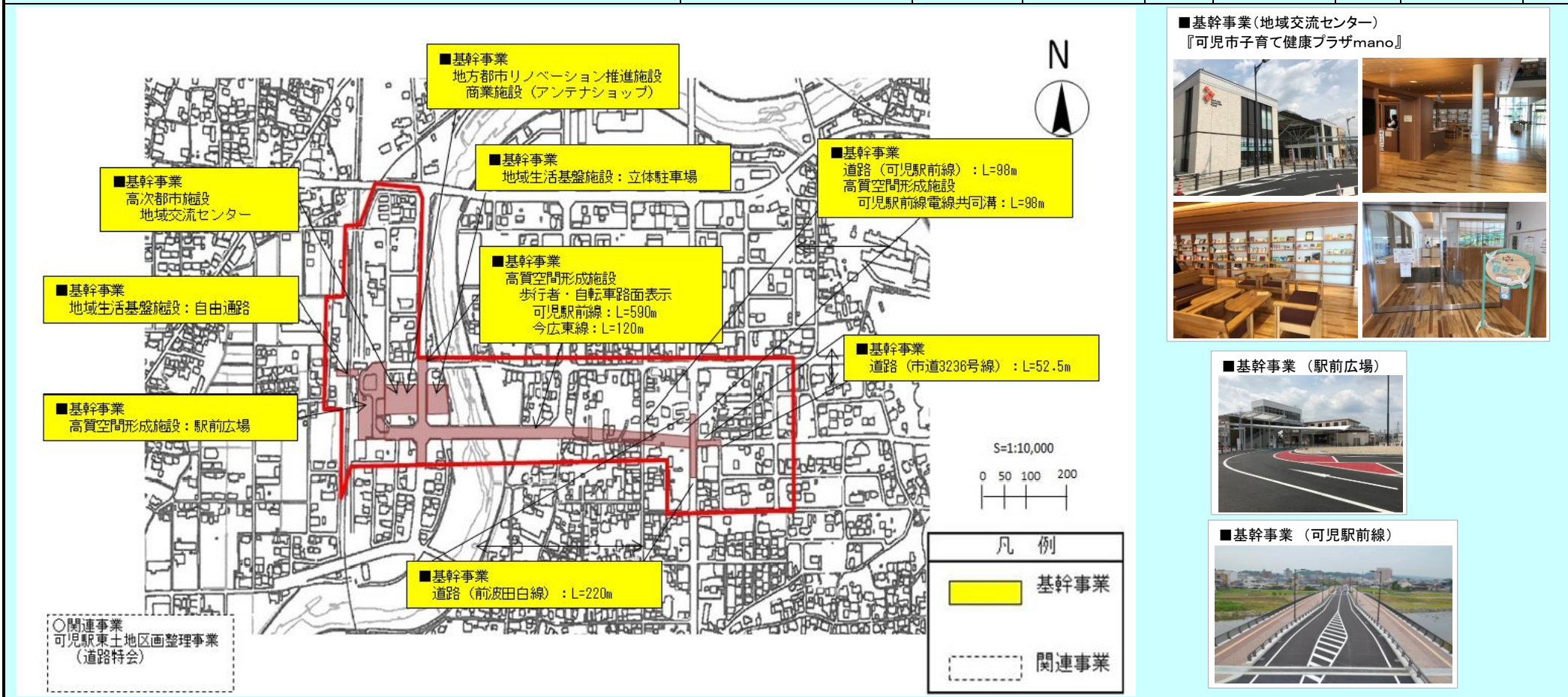
4)定性的な効果発現状況 「可児市子育て健康プラザ」の整備により、子育て世代を中心とする交流活動が活発になっている。

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	モニタリングの実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	事業効果については、必要に応じて継続して確認する。
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
住民参加プロセス	可児市子育て健康プラザ 市民ワークショップ実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	施設の有効活用に向けた活動に展開する。
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
持続的なまちづくり体制の構築	ロードサポーター・花いっぱい運動等の実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	まちづくり・賑わい創出活動等を継続的に実施する。
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式2-2 地区の概要

可児駅東地区(岐阜県可児市)都市再生整備計画事業の成果概要

令和2年3月	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
「出会いと暮らしの杜づくり」をテーマに市民が誇れる交流とにぎわいの中心核を実現する。 目標1:子育て支援機能を中核とし、市民の健康づくり、にぎわいを創出する空間の整備により、多世代が多様に交流し、豊かに生活できる環境を創造する。 目標2:交通結節点としての機能向上と中心市街地の交通アクセスの強化のために、便利で快適・安全な歩行者環境を創造する。	暮らしやすさの満足度	単位: %	21.6	H25	42.0	H30	32.6	H30
	交通安全利便性・安全性の満足度	単位: %	28.6	H25	45.4	H30	50.0	H30
	区域内幹線道路の歩行者空間のバリアフリー化	単位: %	47.3	H25	48.0	H30	48.8	H30



■基幹事業(地域交流センター)
『可児市子育て健康プラザmano』



■基幹事業(駅前広場)



■基幹事業(可児駅前線)



まちの課題の変化

- 「可児市子育て健康プラザmano」の整備により、子育て・健康・賑わい空間の拠点形成が実現した
- 駅前広場をはじめとした歩行者空間整備を進め、歩行者環境の改善が図られた
- 買い物に対する満足度を高める環境づくりが必要

今後のまちづくりの方策
(改善策を含む)

- 子育て・健康・賑わい空間の維持・充実→「可児市子育て健康プラザmano」の効果的活用による子育て・健康・賑わい環境の充実【「可児市子育て健康プラザmano」の利用・活動促進・利用活動支援等の実施】
- 安全で楽しい歩行者環境の維持・向上→整備済み歩道空間の適切な維持と継続的な環境整備【歩道空間の維持・改善・地区外とのネットワーク確保等】
- 買い物環境の向上→都市基盤整備の進捗に合わせた店舗等の立地促進【民間による店舗立地等の誘導・可児駅西地区をはじめとする道路整備等の実施による店舗立地適地等の確保を推進】